

<タブレットセット(HQJP-MOTS-A2に同梱のHQJP-MUK-A2)のアップデート方法>

HWJQA211011
ハンファQセルズジャパン株式会社
PVシステム事業部

1. はじめに

・本資料は、**タブレットセットHQJP-MOTS-A2同梱の送信ユニット(HQJP-MUK-A2)のファームウェア** (ソフトウェア)を、「九州電力様・四国電力様・沖縄電力様・中国電力様・東北電力様・北海道電力様 東京電力様・北陸電力様向け遠隔出力制御」対応へアップデートするための手順書です。

・アップデートにはSDカード(1枚)が必要です。

・送信ユニットのアップデートは、タブレットから通信で指示を出して行います。

※アップデート中は、絶対に電源を切らないでください。

※操作方法の間違いによる損害については、一切補償できません。

※必ず、送信ユニットのファームウェアを利用してください。

それ以外の機器にはこのファームウェアを使用しないでください。

※以降の手順で、タブレットPCの画面は余剰用の画面を記載していますが、全量用も手順は同様です。

※出力制御以外の”タブレットPCのOS”等のアップデートは本資料の対象外です。

送信ユニットのバージョンごとの遠隔出力制御対応は以下の通りです。

「出力制御:03.00」…九州電力様、四国電力様、沖縄電力様、中国電力様、東北電力様対応

「出力制御:04.00」…九州電力様、四国電力様、沖縄電力様、中国電力様、東北電力様、北海道電力様、東京電力様対応

「出力制御:05.00」…九州電力様、四国電力様、沖縄電力様、中国電力様、東北電力様、北海道電力様、東京電力様、北陸電力様対応

2. 事前準備とご注意

(1) 事前準備

・タブレットPCと送信ユニットを同一のネットワークに接続してください。

・空のSDカードを1枚使用します。

使用できるカードは、microSD/SDHC/SDXCのいずれかです。

・パソコンを使用して、microSDカードの中に、以下のファイルを格納して下さい。

microSD: 更新対象のTx_UnitUpdateまたはz_Tx_UnitUpdateで始まるファイルを格納して下さい。

(なお、ファイル両方を格納した場合でも特に弊害はございません。5-⑧で選択することになります。)

(2) ご注意

・アップデート中はタブレットモニタの電源が切れないようACアダプタを使用してください。

・アップデート中は電力量等のデータは記録されません。それ以外のデータや設定には影響ありません。

・アップデートに失敗する場合、別のmicroSDカードを準備して試してください。

・タブレットモニタのアップデート完了後に、送信ユニットのアップデートを実施してください。

3. タブレットPCと送信ユニットの接続

(1) タブレットと送信ユニットの電源が入っていることを確認してください。

(2) 送信ユニットが接続されているルーターに、タブレットPCを接続してください。

または、ルータを使用せず送信ユニットのAP機能を有効にして、タブレットPCと接続してください。

(3) タブレットPCのブラウザ(Edge)で、以下のいずれかのアドレスを入力します。

a) インターネットに接続している場合

<http://solar-monitor/> もしくは、<http://solar-monitor2/>

b) インターネットに接続していない場合

<http://192.168.1.1/>

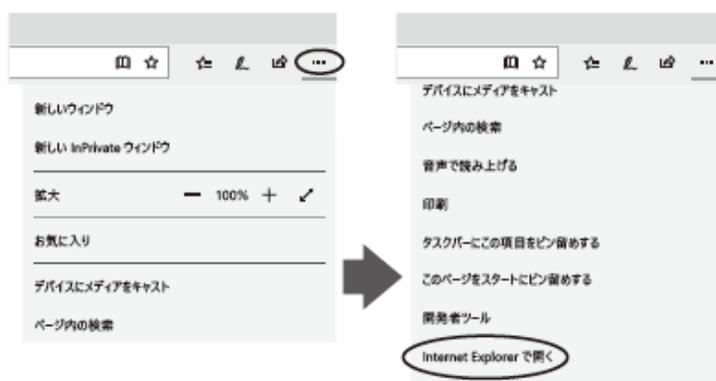
※接続できない場合、ルーター、タブレットPC、送信ユニットを再起動して確認してください。

(4) Internet Explorerに切り替えます。

① 手順(3)入力後、以下の画面になります。



② 次に、画面右上の「…」を選択し、下にスクロールさせて、「Internet Explorer で開く」を選択してください。



③ 以下のように右上に時計が表示された画面になります。
 ※Flash実行に関する警告が出た場合、内容を確認のうえ「許可」を押してください。
 ※Flashを有効にできない場合、シート補足2の方法でも更新可能です。

・余剰モード



・全量モード



(5) 通信接続していることを確認した後、時計設定を手動で更新してください。
 この作業で、送信ユニットが測定した電力データをメモリに保存します。

・メイン画面から次のようにクリックします。



・日付・時刻設定画面が表示されたら、「手動」を選びます。



・日時などの変更は不要です。そのまま決定を押し、メイン画面に戻ります。



⇒詳細は
補足資料

「5. 送信ユニットのアップデート」に進みます。

※ 設定画面に、次ページへのボタンが表示されない場合は、Adobe Flash Playerが無効となっています。
手順(4)の方法でInternet Explorerに切り替えてください。
(出荷時設定では、Internet ExplorerではAdobeFlashPlayerが有効になっています。)

① 「メニュー」をクリックします。



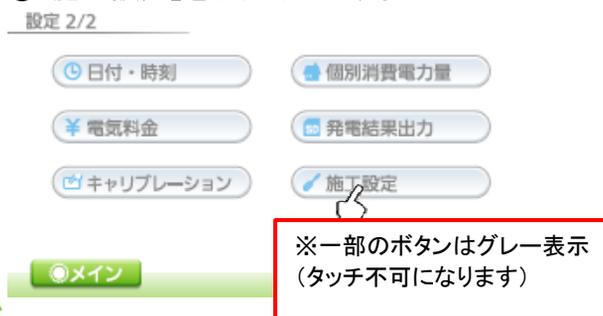
② 「設定」をクリックします。



③ 「次ページへ」をクリックします。



④ 「施工設定」をクリックします。



⑤ 「ファームウェア」をクリックします。



⑥ バージョンを確認します。

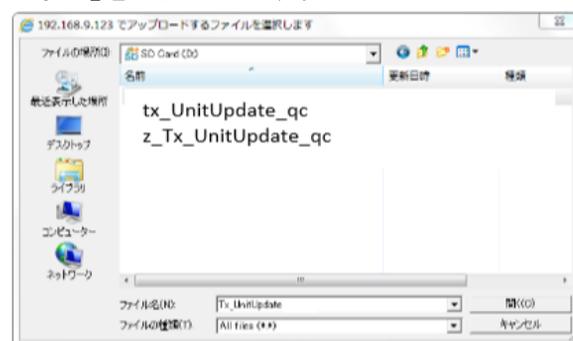


必ずVer.10.40Dのファームウェアを選択してください。

⑦ 「アップデート」をクリックします。

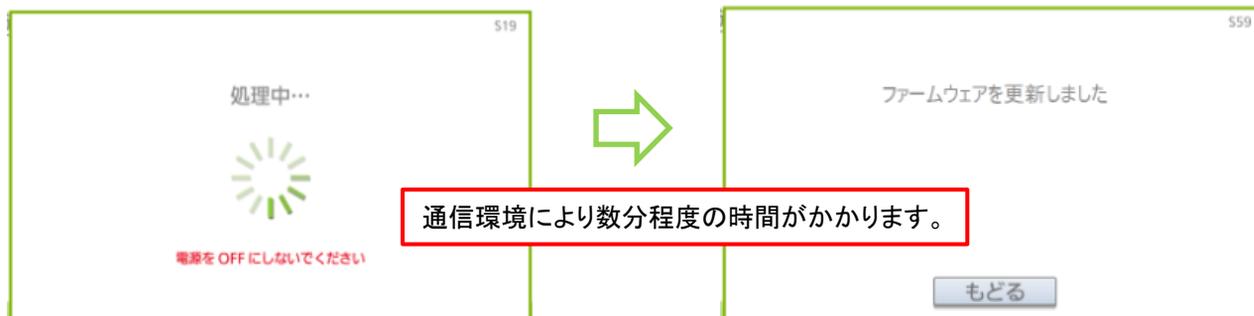


⑧ タブレットPCに保存したアップデートファイル「Tx_UnitUpdate_qc(余剰の場合)」または、「z_Tx_UnitUpdate_qc(全量の場合)」を選択して「開く」をクリックします。



⑨アップデートがはじまります。
電源をOFFにしないでください。

⑩完了すると「更新しました」と表示されます。



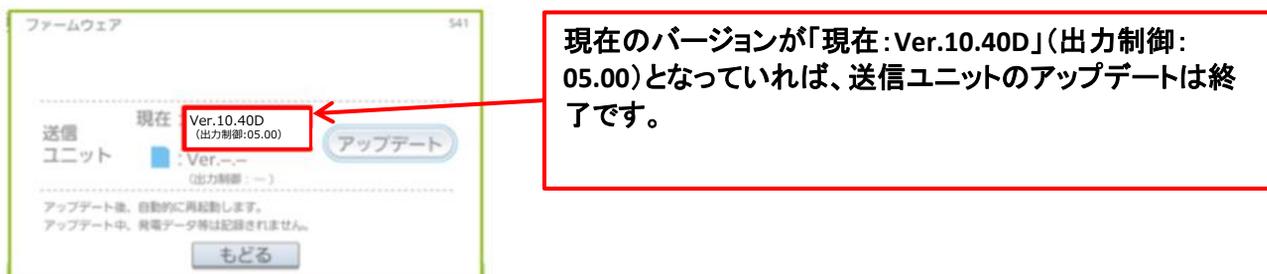
⑪ブラウザを閉じます。

⑫ブラウザを再度起動し、以下のアドレスを入力してメイン画面を表示させ、手順3.(4)を参照してInternet Explorerで画面を表示します。

a) インターネットに接続している場合
http://solar-monitor/ もしくは、http://solar-monitor2/

b) インターネットに接続していない場合
http://192.168.1.1/

⑬送信ユニットのバージョンを確認します。
手順5. ①～⑥と同様の操作を行い、下記画面を表示させてください。



⑭ブラウザを閉じてください。

6. 送信ユニットの通信設定をもとに戻す

ファームウェア更新前に通信設定等を変更していた場合は、もとに戻してください。

以上で、送信ユニットのアップデートが完了です。

以上

補足資料1: 時計設定を更新する

- ・送信ユニットとパソコンが通信接続している状態で行ってください。
- ・以下の画面は手順3(4)でInternet Explorerで接続した状態の画面です。

①「メニュー」をクリックします



②「設定」をクリックします



③「次ページへ」をクリックします



④「日付・時刻」をクリックします



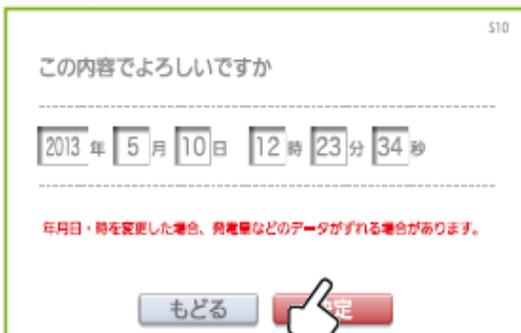
⑤「手動」をクリックします



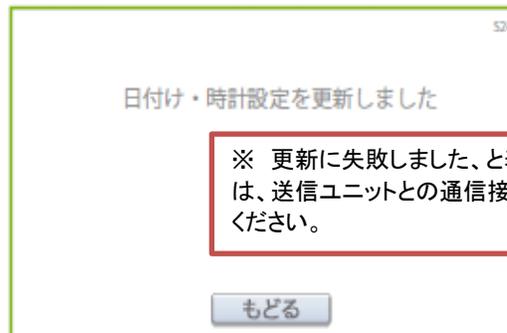
⑥そのまま「決定」をクリックします



⑦「決定」をクリックします



⑧更新しましたと表示されます



⑨「もどる」、「メイン」とクリックして、メイン画面に戻ります。以上で時計設定の更新は完了です。

補足資料2:Flashを有効にできない場合の更新手段

1. タブレットPCと送信ユニットの接続

- (1) タブレットと送信ユニットの電源が入っていることを確認してください。
- (2) 送信ユニットが接続されているルーターに、タブレットPCを接続してください。
または、ルータを使用せず送信ユニットのAP機能を有効にして、タブレットPCと接続してください。
- (3) タブレットPCのブラウザ(Edge)で、以下のいずれかのアドレスを入力します。
 - a) インターネットに接続している場合
http://solar-monitor/ もしくは、http://solar-monitor2/
 - b) インターネットに接続していない場合
http://192.168.1.1/

※接続できない場合、ルーター、タブレットPC、送信ユニットを再起動して確認してください。

- (4) 通信接続していることを確認した後、時計設定を手動で更新してください。
この作業で、送信ユニットが測定した電力データをメモリに保存します。
・メイン画面から次のようにクリックします。



・日付・時刻設定画面が表示されたら、「手動」を選びます。



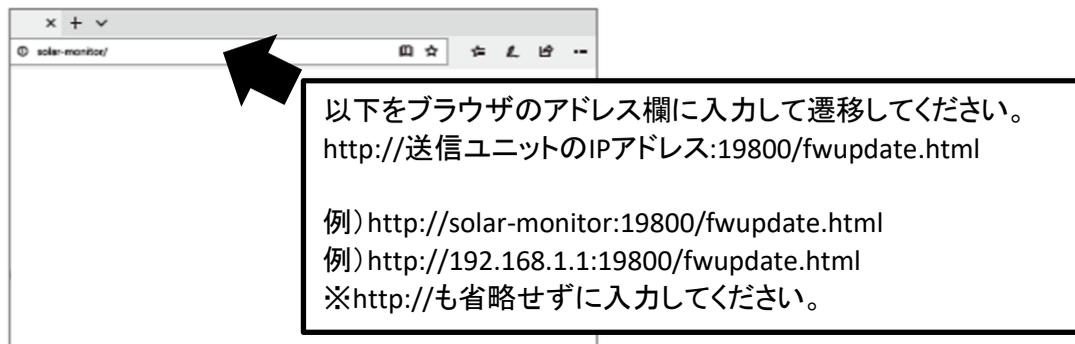
・日時などの変更は不要です。そのまま決定を押し、メイン画面に戻ります。

「2. 送信ユニットのアップデート」に進みます。

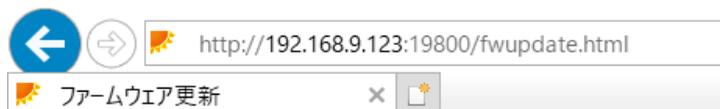
2. 送信ユニットのアップデート

- (1) ファームウェア更新専用画面を表示します。

① ブラウザのアドレス欄に手入力を行います。



② 以下の画面が表示されます。



ファームウェア更新

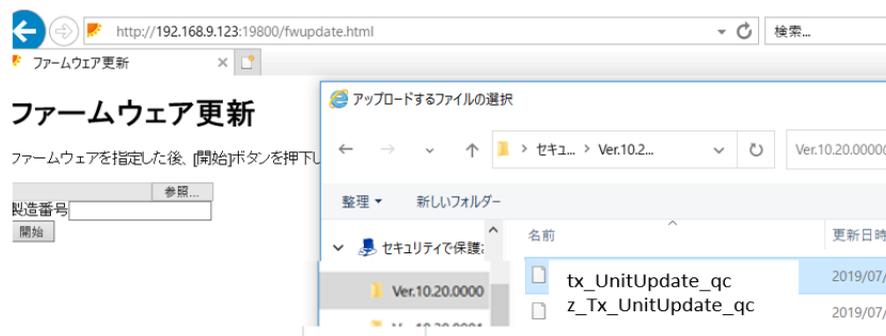
ファームウェアを指定した後、[開始]ボタンを押下して下さい。

製造番号

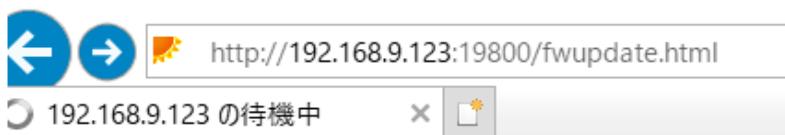
※画面例はIEですが、Edgeでも同じ表示です。

(2) 更新の設定を行います。

- ① [参照]ボタンを押して、更新に使用するファイルを選択します。

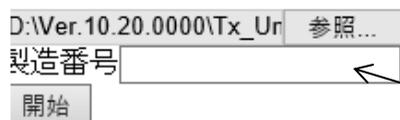


- ② 製造番号の欄に送信ユニットの製造番号(定格ラベルに記載)を入力します。



ファームウェア更新

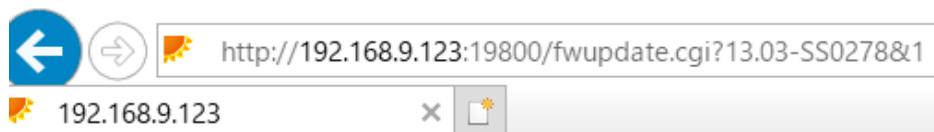
ファームウェアを指定した後、[開始]ボタンを押下して下さい。



テキスト入力エリアをタッチして、製造番号を入力してください。

(3) 更新を開始します。

- ① [開始]ボタンを押してしばらくすると以下の画面になります。
※以下の画面にならず「ページが見つかりません」になる場合、通信接続状態および入力した製造番号を確認してください。



バージョンアップを開始しました。
バージョンアップ中は絶対に電源を切らないで下さい。

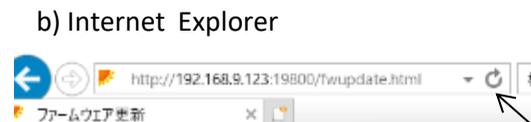
※60秒後にトップページに戻ります。

- ② 60秒後に自動的にトップページのURLに戻ります。

その時点では送信ユニットは再起動中ですので、ブラウザの表示は「見つかりません」になります。そのまましばらく待ち、送信ユニット起動完了後に画面を更新してください。



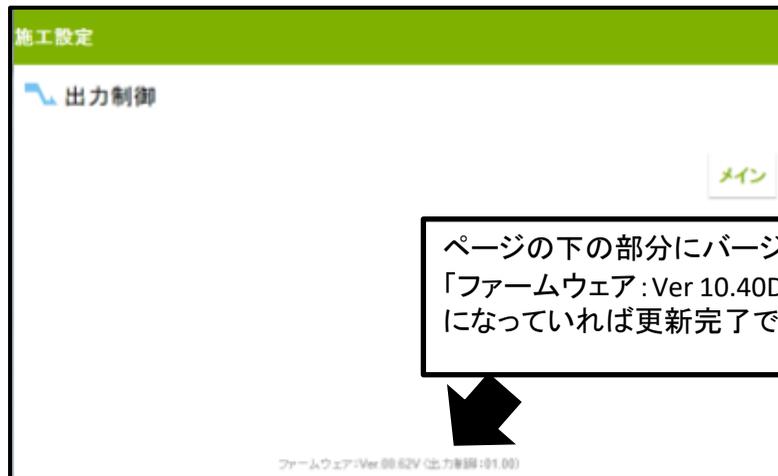
更新ボタン



更新ボタン

(4) バージョンを確認します。

・メイン画面から次のようにクリックします。



ページの下の部分にバージョンが表示されます。
「ファームウェア: Ver 10.40D (出力制御: 05.00)」という表示
になっていれば更新完了です。

3. 送信ユニットの通信設定をもとに戻す

ファームウェア更新前に通信設定等を変更していた場合は、もとに戻してください。

以上で、送信ユニットのアップデートが完了です。